



道央圏の職業学科を設置する知的障がい特別支援学校高等部メールマガジン
 WORKわーく 第2号
 平成29年2月10日（金）



☆ 目次

- [1] はじめに
- [2] [新着情報] 企業における合理的配慮について
- [3] [学校自慢] 「各校の部活動、サークル活動を紹介します」①

[1] はじめに

立春も過ぎ、札幌では冬の風物詩「さっぽろ雪まつり」が開催となり、多くの観光客で賑わいを見せています。今年は公開40周年を迎えるスターウォーズの大雪像「白いスターウォーズ」や、札幌、帯広で今月開催される2017冬季アジア大会の「マスコットキャラクター」の像など、注目の作品も目白押しのようなようです。

さて、第2号の「WORKわーく」は、新着情報と学校自慢についてお届けします。

[2] [新着情報] 合理的配慮の具体について

昨年4月1日より「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行になりました。この法律の施行により、障がいのある方などから何らかの配慮を求める意思の表明があった場合には、負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要で合理的な配慮（以下「合理的配慮」と呼びます。）を行うことが求められます。合理的配慮とは、障がいのある方が日常生活や社会生活で受けるさまざまな制限をもたらす原因となる社会的障壁を取り除くために、障がいのある方に対し、個別の状況に応じて行われる配慮をいいます。合理的配慮については、内閣府のWebページで合理的配慮等の具体例を掲載したデータ集「合理的配慮サーチ」を公開していますので、ぜひ参考にいただければと思います。

○ 合理的配慮サーチ →<http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jirei/index.html>

[3] [学校自慢] 「各校の部活動、サークル活動を紹介します」

昨年度、ブラジルのリオで開催されたオリンピック、パラリンピックにおける日本人選手の活躍は記

憶に新しいところと思いますが、次期開催地である4年後の東京におきましても日本選手の大活躍を期待したいところです。このようにスポーツは、人類が生み出した貴重な文化であり、自発的な運動の楽しさを基調とし、障がいの有無や年齢、男女の違いを超えて、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆を深めることを可能にします。さらに、次代を担う青少年の生きる力を育むとともに、他者への思いやりや協同する精神、公正さや規律を尊ぶ人格を形成します。

高等養護学校、高等支援学校では、こうしたスポーツや文化、芸術に触れる機会として部活動、サークル活動に取り組んでおり、今回は、その活動の様子をご紹介します。

「千歳高等支援学校」

本校の同好会は、「余暇を活用する技能や気持ちを育て、卒業後も続けられる活動を見つける」「技術や技能を高めるとともに、集団や仲間づくりを行う」ことを目的に、体育系4つ（バスケットボール、バドミントン、卓球、サッカー）と文化系3つ（音楽、美術、パソコン）のあわせて7つの同好会があります。

現在加入している生徒は60名（全校生徒69名）と、9割近い生徒が同好会に加入しています。活動は月に2回、金曜の放課後に1時間程度の活動を行っています。

生徒からは、「もっと練習をして、先輩のようにたくさんシュートを決められるようになりたい」「あっという間に時間が過ぎてしまう」など、とても充実した時間となっています。

生徒の楽しみにしている時間を大切に、卒業後の生活の充実につながるよう、同好会活動を生徒達とともに、これからも考えていきたいと思っています。

「白樺高等養護学校」

5部活1同好会。全校生徒の約3分の2に当たる100名程が部活動に在籍し、週に2回（月・木）1時間半程度活動しています。各部活動を紹介します。

【サッカー部】夏はサッカー、冬はフットサルの大会に年5回出場し優勝経験も豊富です。スポーツマンシップを大切に日々の練習に取り組んでいます。

【バスケ部】年間3回の大会に出場し、優勝目指して日々の練習を意欲的に頑張っています。

【陸上部】長距離走を中心に取り組んでいます。マラソン大会や、駅伝にも参加しています。夏場は地域性を生かし竹山高原を気持ちよく走り込んでいます。

【太鼓部】校内発表の他、老人ホームや施設、お祭りなど年間10回前後の演奏発表をしています。息を合わせて心に響く演奏をたくさんの方に届けています。

【美術部】絵画を中心にこつこつと取り組み、毎年様々な展覧会に出展し入賞しています。

【合唱同好会】校内での発表に向けて活動しています。男女の素敵なハーモニーが響いています。

「小樽高等支援学校」

小樽高等支援学校では1つの部活動（バスケット）と6つの同好会（卓球、サッカー、バドミントン、音楽、美術、図書館）からなっています。

バスケットボール部は道内で開催される4つの大会で完全優勝を果たすことができました。全国大会

出場に向けて、土曜日・日曜日にも練習に励んでいます。

同好会は卒業後の余暇活動の充実に向け取り組んでいます。6つの同好会から実施日に合わせて2つまで選択することができます。授業終了後1時間程度活動し、リフレッシュしています。

特に図書館同好会では図書館同好会杯百人一首大会を開催し、生徒、教員だけでなく、地域の方々にも参加していただいています。

「新篠津高等支援学校」

新篠津高等養護学校では、「学校生活に対する意欲を高め、余暇を有効に使い、生活の質を向上させる」ことなどを目的とし、全校生徒のほぼ全員が部活動に所属しています。

運動系においては、陸上競技部が毎年行われる「北海道障がい者スポーツ大会」に参加し、4×100mリレーにおいては、過去10年間において6度優勝を果たしたり、サッカー部は、今年度の北海道チャレンジド・サッカー大会において優勝したりすることができました。

文化系も盛んであり、特に昨年度発足した演劇部は、高文連石狩支部に加盟し今年度はじめて高等学校演劇発表大会に参加しました。全道大会では誰もが予想しなかった優秀賞を受賞し、平成29年3月岐阜県大垣市で開催される全国大会に出場することになりました。全国大会出場に当たっては、新篠津村をはじめ地域の方々、卒業生など様々な方面から支援が寄せられ、部員たちは体験貴重な経験をすることができそうです。

今回は、札幌郊外の各学校の部活動、サークル活動の様子をご紹介します。次号では、部活動、サークル活動の紹介の第二弾として、札幌市内にある高等養護学校、高等支援学校で取り組まれている部活動、サークル活動の様子をご紹介します。

☆☆~~~~~☆☆

◆発行及びお問い合わせ

北海道新篠津高等養護学校（事務局校）

〒068-1115 石狩郡新篠津村第45線北13

TEL 0126-58-3280 FAX 0126-58-3280

メールアドレス shinshinotsukoutouyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp

◇発行協力

北海道立特別支援教育センター

☆☆~~~~~☆☆